

長野県ものづくり産業振興戦略プラン【2018～2022年度】の取組状況について

目標値の達成状況

本プランの総合的な目標値
2020年における
「製造業の従業員一人当たり付加価値額」
→ 1,260万円

「製造業の従業員一人当たり付加価値額」
2015年 1,117万円 → 2017年 1,081万円
(工業統計調査確報値/2019年8月発表)

取組状況

I 産業イノベーションの創出活動促進のための重点施策（9施策）

1. 産業イノベーション創出研究開発支援 ～研究開発プロジェクトの多数組成と事業化の成功確率の向上～

研究開発成果の事業化及び世界市場への展開促進を目的に、県内企業や大学などの優れた技術について競争優位性の検証、用途展開可能性の探索、事業化戦略の策定を支援するとともに、県テクノ財団による一貫支援も実施。

- 【実績】・研究開発プロジェクトの事業化を支援（11件）
・県テクノ財団の支援による国プロジェクト（サポイン）の新規獲得（3件）

今後の取組

- ・研究開発成果の事業化や世界市場への展開を促進する新たな研究開発プロジェクトの支援、県テクノ財団による国プロジェクトの獲得や運営など継続的な一貫支援の実施

2. AI・IoT等先端技術活用型新事業創出支援 ～ビッグデータを活用した新ビジネスの創出に貢献～

県工業技術総合センターに「IoTデバイス事業化・開発センター」を設置するとともに、拠点施設「AI活用/IoTデバイス事業化・開発センター」を開設。IoTやビッグデータを活用した事業創出を専門とする人材により、IoT分野へ参入するためのデバイス開発などの一貫支援を展開。

- 【実績】・キックオフシンポジウムを開催
・新規プロジェクトを開始（3件）
・AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターを整備



▲AI活用/IoTデバイス事業化・開発センター

今後の取組

- ・製造業のIoT化を通じた生産性の向上、技術開発力創出を促進する複数のプロジェクトの事業化を支援

3. 課題解決型企业群形成支援 ～先端技術の導入と基盤技術の強化による提案力の向上～

県内下請型・受託加工型企业がこれまで蓄積した研究開発経験を活かし、川下産業の課題を解決できる企業へ着実に成長できるよう、川下産業への技術提案機会の提供や技術開発計画の策定支援などを実施。

- 【実績】・技術課題解決に資する研究会の開催（8研究会）
・研究会における共同研究の実施（12件）

今後の取組

- ・研究会の継続的な実施と新規研究会の立ち上げ、共同研究の実施

4. 地域資源活用支援 ～地域資源を活用した高付加価値製品の創造～

県工業技術総合センターの地域資源製品開発支援センターやしあわせ信州食品開発センターなどによる、高品質な原材料の開発、製造技術向上、感性価値を高めるデザインの提案などの支援を実施。

- 【実績】・715件の相談に対し96件の支援を実施（うち28件の商品化に成功）

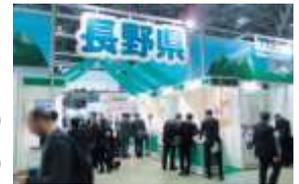
今後の取組

- ・県工業技術総合センターなどによる高付加価値食品づくりなどの支援を継続的に実施

5. マーケティング力強化支援 ～有望分野・市場の把握及び販路開拓支援～

中小企業が取り組む有望市場への販路開拓を支援するため、国内外展示会への出展機会の提供や技術提案型商談会等を開催。

- 【実績】・工業製品に係る国内外展示会・商談会等への出展支援(18回、延べ359社)
・加工食品に係る国内外見本市・展示会等への出展支援(10回、延べ116社)
・加工食品に係る独自商談会の開催(6回、延べ318社)



▲展示会への出展支援

今後の取組

- ・工業製品販路開拓支援、加工食品販路開拓支援、展示会への出展助成など

6. 産業人材育成支援 ～長野県産業の「稼ぐ力」を創出する人材の育成・確保を進めるため、

切れ目のない支援を目指す～

産業人材育成協議会を設置し、県内産業界の人材育成に必要な施策の方向性検討や、産業人材育成を進める上で直面している様々な課題への対応を検討。また、基礎技術の向上に寄与する人材育成を実施。

- 【実績】・信州ものづくり未来塾の開催(90講座開講、受講者数1,789人)
・技能検定の実施(受験者数5,544人、合格者数3,561人)など

今後の取組

- ・R1から信州・未来のひとづくり塾事業を実施。引き続き、基礎技術の向上に寄与する人材育成を実施

7. 産業人材確保支援 ～理工系学生や専門人材を対象とした取組～

新規卒者の県内就職促進や働き方改革の推進による人材の定着を目的とした事業を展開。

- 【実績】・インターンシップフェアを開催(東京1回、長野1回、延べ253人参加)
・人材の定着を目的とした働き方改革シンポジウムを開催(1回)
・働き方改革先進企業の事例研究会(4回)を開催

今後の取組

- ・インターンシップフェアの開催(長野・東京・名古屋)、働き方改革先進企業の事例研究会の開催など

8. 起業・スタートアップ支援 ～日本一創業しやすい県づくりの推進～

イノベティブな創業を促進するため、「信州創業応援プラットフォーム」による情報の一元化やマッチング支援、新たなビジネス創造支援を実施。

- 【実績】・信州創業応援プラットフォーム会議を開催し、支援機関同士の情報交換及び新たな施策を検討(6回、延べ225人参加)
・創業セミナーの実施(10回、延べ372人参加)
・スタートアップ期の事業者を対象に、直面する課題を解決し成長を加速するための支援(アクセラレーション事業)を実施(4者を支援)

今後の取組

- ・アクセラレーション事業の実施、有識者を交えた新たな創業支援策の策定など

9. 産業集積及び投資促進 ～長野県の強みを活かした企業誘致・雇用創出～

企業誘致や県内企業の成長期待分野等への参入に向けた投資促進への取組、助成制度や税制優遇、融資、販路開拓などの総合的な支援を実施。

- 【実績】・本社・研究所の誘致(1件)
・企業立地(40件)

今後の取組

- ・展示会への出展による効果的な長野県のPR、本社機能の移転等促進など

II 産業イノベーション創出型プロジェクト（16プロジェクト）

健康・医療分野

1. プレメディカルケア産業の集積形成

佐久地域において、プレメディカルケア（病気の予防、早期発見、健康増進）に関する産業の創出と集積形成を目指し、アイデア創出やネットワーク形成を行うワークショップを開催。

【実績】・ワークショップを開催（5回、延べ188名参加）

- ・地域の中小企業や医療機関等によるネットワークの構築
- ・ウォーキング用ボールの健康増進効果について調査を実施（被験者約50人、測定結果の分析により6か月の健康影響評価をまとめた）



▲ワークショップによる医療現場等のニーズ紹介

今後の取組

- ・ワークショップの継続的な実施。個別プロジェクトの立ち上げ（具体的な製品開発や事業化の支援）

2. 材料・精密技術等の融合による健康・医療機器関連産業の集積形成

県内企業の精密加工技術や信州大学の材料技術を活かした健康・医療機器関連産業の集積形成を推進。

【実績】・医療機器産業振興ビジョンの策定

- ・医療機器の開発・事業化を支援する「信州医療機器事業化開発センター」等の支援体制を整備
- ・健康・医療機器分野への参入を図る中小企業や大学発ベンチャーの研究開発及び事業化戦略の策定を支援（3件）

今後の取組

- ・中小企業や大学発ベンチャーによるプロジェクトへの継続的な支援、医療機器開発人材の育成

3. 東信州広域連携による次世代自立支援機器・産業機器製造業の集積形成

東信州次世代産業振興協議会等が取り組む産学連携・研究開発、人材確保・育成、ネットワーク強化に対して支援を実施。

【実績】・新製品開発プロジェクトを実施（2件）

- ・地域企業を中核とした産学官連携による新たなプロジェクトの立ち上げと事業化を支援するため、地域未来投資促進法に基づく連携支援計画の作成を支援

今後の取組

- ・新規プロジェクトの立ち上げ及び事業化に向けた事業運営の支援（補助制度の申請支援を含む）

4. 超精密加工技術による医療・ヘルスケア機器分野への参入企業の集積形成

医療ヘルスケア機器産業を諏訪地域へ集積するための、医療セミナー開催や関連展示会への出展を実施。

【実績】・メディカル機器分野に関するセミナーやヘルスケア機器産業に関する講演会の開催（計146人参加）

- ・展示会への出展（4回、計38企業参加）

今後の取組

- ・医療機関や産学関係者との意見交換の実施、各種医療・ヘルスケア機器のトライアル加工の実施など

5. オープンイノベーションによる日常生活動作支援産業の集積形成

高齢や障がいによる日常生活の不自由や看護をサポートする製品・サービスを開発・実証して、社会実装・ビジネス化に結び付ける産業の集積形成を実現するための情報交換や研究開発を実施。

【実績】・INA Valley 産業支援ネットワークによる情報交換会を開催（4回）

- ・スマート看護・福祉研究会による看護（介護）用椅子の開発を推進

今後の取組

- ・INA Valley 産業支援ネットワークなどによる継続的な活動の実施

6. 健康増進と経済活性化に寄与する食品関連製造業の集積形成

南信州の特徴的な食品を活用した健康増進や高齢者介護、地域経済活性化に向けた取組として、食品分析評価や商品開発支援、地域内消費拡大や中京地区への情報発信を実施。

【実績】・食品分析装置をエス・バードへ導入

- ・飯田メディカルバイオクラスター食品系分科会による勉強会を開催（4回）
- ・飯田市及び名古屋市での商談会並びに名古屋市での物産展を開催

今後の取組

- ・食品の分析評価、新商品開発に対する支援、地域内外への販路開拓支援など

7. すんき等の発酵食品による地域のブランディングを通じた産業の集積形成

すんき等の発酵食品を核とする食品製造業を中心に、農業や観光等の他の産業と連携して、木曾地域に地域産業を集積するための商品化支援や情報発信を実施。

【実績】・全国発酵食品サミットや物産展などでの情報発信の実施

- ・すんきに含まれる乳酸菌を活用した飲料の商品化の開発支援の実施
- ・すんきの生産・販売・加工・PR・販路開拓に関する情報交換を行うプロジェクト会議を開催（2回）

今後の取組

- すんきやすんきに含まれる乳酸菌を活用した商品等の情報発信を継続的に実施

8. 住民参加型の健康・医療関連産業の集積形成

健康・医療関連分野に係るニーズ把握から研究開発・生産までの一貫体制の構築を目指し、信州大学の信州リビング・ラボ構想事業との協働で、在宅医療や介護の現場で求められる医療機器等についてのアイデアを創出する機会を設置。

【実績】・住民向け及び若者向けワークショップの開催（計4回開催）

▲医療機器産業の集積に係るワークショップ



今後の取組

- 医療機器等々のアイデアの更なる収集とアイデアに基づく医療機器・介護機器等の開発を支援

9. ヘルスツーリズムの活性化に資する農商工連携型産業の集積形成

北アルプス地域で取り組まれているヘルスツーリズムの普及促進につながる健康関連製品の開発・改良プロジェクトを推進することを目的とした協議会を設置・運営。

【実績】・産学官金により構成される協議会を開催し（2回）、当地域企業のニーズの掘り起こしを実施

- ・製品開発プロジェクトを立上げ（1件）、製品企画から製品開発・改良・販路開拓に向けた取組を推進

今後の取組

- 協議会の継続的な運営と新たな製品開発プロジェクト立ち上げに向けた企画の検討など

10. からだに優しい食品製造業の集積形成

長野県食品製造業振興ビジョンに基づき、長寿県 NAGANO の「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の集積形成の実現に向けた取組を推進。

【実績】・全国発酵食品サミットを開催

- ・「発酵・長寿」県宣言を実施し、「発酵・長寿」ブランドを全国へ発信
- ・機能性エビデンス研究の実施及び企業による新商品開発を助成



▲全国発酵食品サミット開催

今後の取組

- からだに優しい食品の開発促進及び消費者に対する認知度向上に関する取組の実施

11. 地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成

醸造蔵に存在している多くの地域遺伝資源（発酵微生物等）や豊富な果物等の地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成を目指し、地域の醸造蔵に住んでいる数ある「菌」の科学的解明を開始。

【実績】・地域遺伝資源活用新商品開発コンソーシアムの設立（51者参画）

- ・県内7つの醸造蔵から仕込み中の味噌などのサンプルを採取
- ・サンプルから菌を取り出し機能性の分析を開始



▲醸造蔵での木桶からのサンプル採取

今後の取組

菌の探索と科学的解明の継続実施、新規参画企業の募集、商品化に向けた取組の実施など

環境・エネルギー分野

12. 信州カラマツ活用型産業の集積形成

信州カラマツの活用方法を研究し、住宅関連等へ製品展開する企業の創出を図ることを目的に、信州カラマツ等の木材寸法安定処理技術に関する基礎的な研究データの収集や事業化に向けた情報収集等を実施。

【実績】・国や県の提案公募型事業に提案し採択（2件）

- ・基礎的な研究データの収集の実施



▲信州カラマツの基礎データ収集

今後の取組

信州カラマツを活用した製品の事業化に向けた研究開発の推進、国提案公募型事業への提案

13. 「水浄化関連技術」の事業化を通じた関連産業の集積形成

水浄化関連技術の事業化を通じ、事業化の核となる企業の成長及び県内への研究所等の移転、県内企業による用途開発等を促進して、関連産業の集積を実現するため、水浄化関連技術の研究開発を推進。

【実績】・信州大学アクア・イノベーション拠点技術シーズマッチングセミナーの開催

今後の取組

研究開発の継続的な実施、研究シーズと企業のニーズや技術とのマッチング

14. ゼロエミッション生産技術による環境調和型産業の集積形成

ゼロエミッション生産技術により、環境先進県長野を具現化する環境調和型産業の集積形成を目指すため、工業技術総合センターによる企業支援の実施や研究会を開催。

【実績】・エネルギーコスト削減への改善提案を企業に対し実施（5社）

- ・生産現場IoT技術研究会の開催（5回）
- ・研究会会員へ生産現場の工程改善や生産効率向上支援を実施（6社）



▲IoT導入支援に用いる「セ
「センターIoTキット」
（工技センター独自開発）

今後の取組

IoT事業化プロデューサー等によるIoTデバイス開発プロジェクトの推進など

15. 高度科学的手法による未利用バイオマス新規活用産業の集積形成

キノコ廃培地から高度科学的手法を用いて、高付加価値製品である希少糖を創出するビジネスモデルの構築により、未利用バイオマスの新規活用産業の集積形成を目指し、研究開発を推進。

【実績】・国の提案公募型事業に提案し採択

今後の取組

希少糖創出に向けた技術開発を国の提案公募型事業で継続実施、希少糖抽出後の残渣活用の調査検討など

次世代交通

16. 航空機システム産業の集積形成

航空機システム関連の企業や研究開発支援機能が集積する「アジアの航空機システム拠点」の形成を実現するため、航空機システムに関する開発支援機能の強化や参入促進支援を実施。

- 【実績】・航空機システム共同研究講座による高度人材育成
- ・工業技術総合センター航空機産業支援サテライトによる技術開発支援（技術相談 54 件、企業訪問 53 件）
 - ・県外大学の学生等へ長野県の航空機産業等を紹介するセミナーの開催（3回、約 250 名参加）
 - ・県テクノ財団による国内外の航空機関連展示会への出展支援（国内 1 回、海外 1 回）
 - ・航空機システム研究会の発足（50 企業、4 個人が参画）



▲産業振興と人材育成の支援施設「エス・バード」

今後の取組

共同研究講座の継続的な実施、技術開発支援やセミナーの実施、航空機関連展示会への出展支援など

III 推進体制

プランの実効性を高める推進体制

9の重点施策を効果的に活用して、16の産業イノベーション創成型プロジェクトを効果的に推進するための統括的な推進体制の在り方等について検討を実施。

- 【実績】・県工業技術総合センター、県中小企業振興センター、県テクノ財団及び県発明協会（以下、4支援機関という）が連携したワンストップ型支援体制を整備
- ・4支援機関連携によるプッシュ型プロジェクト事業の設立（中核企業育成ステップアップ支援事業）
 - ・長野県の産業支援体制の在り方検討会を発足（本県の産業支援体制のあるべき姿を具現化するための方策について検討）
- ＜検討メンバー＞
- 会長：長野県副知事（産業経済振興担任）
 - 副会長：長野県産業労働部長
 - 長野県中小企業振興センター、長野県テクノ財団、長野県発明協会
 - 長野県工業技術総合センター、長野県産業労働部、長野県営業局

目指す産業支援体制と実現に向けた取組について

〔「プランの実効性を高める推進体制」の検討のコンセプト〕

令和元年7月30日開催
第2回産業支援体制の在り方検討会資料

長野県ものづくり産業振興戦略プランの実効性を高めるとともに、時代の変化に迅速に対応できる産業支援体制を検討・構築することを目的に、産業支援体制の在り方検討会を立上げ、検討を行っている。

1 目 標【目指す姿】

- 国内外の経済情勢が大きく変革するであろう令和の時代、県内企業は、新たなビジネスモデルの創出や技術の革新等、**将来の事業活動**へ果敢に挑戦
- 幅広い産業分野で多様な経営課題を効率的・効果的に解決するためには、産業支援機関等が**専門性を活かし、連携・相互補完**できる支援体制の確立が不可欠
- 企業が支援を有効に活用し、変化が速い**社会環境に迅速・的確**に対応し発展できるよう、県・産業支援機関は「常に最適化できる産業支援体制」を確立することが目標

2 課 題【解決の方向性】

- 有識者
 - ◇市場と技術は同時並行支援が不可欠 ⇒ 支援機関が共同・連携する仕組み
 - ◇多様化・国際化する課題への対応 ⇒ 専門性が高い外部資源・施策の活用
 - ◇幅広い経営課題の効果的な解決 ⇒ 身近な支援機関との広域的連携の促進
- 支援機関
 - ◇継続的・安定的な支援体制の維持 ⇒ 将来を見据えた財源・人材の確保

3 理 念【共通意識】

支援に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の確立

- 伴走型支援に必要な「職員の資質向上」と「連携の仕組みづくり」
- より専門的で高度な「設備の充実」と「活用の仕組みづくり」
- 継続性・最適化に必要な「財源の確保」と「効果的な利活用」

4 取 組【具体的内容】

3つのフェーズに分け、取組むことができる検討事項から具体化

- 県全体の産業支援体制の在るべき姿の検討
- 若里エリアの産業支援体制の強化に向けた方策の検討
- 若里庁舎の機能・連携強化に向けた検討

産業支援体制検討のスケジュール

